

## 令和7年度 我が校の学ぶ力向上策

## 【市町 目標】

○一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育を実践する

## 【学校 目標】

○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善の推進  
生活科・総合的な学習の時間を通じて、主体的に問い続ける子どもの育成を目指す

## 【現状と課題】

○視点1

(1) 学び合いの学習スタイルは定着しつつあるが、自ら問いを立て、探求する学びの実現が課題である。

(2) 理解を助ける手立てとして端末を活用しているが、学びを深めるための活用の仕方や指導者によって差が生じることに課題がある。

○視点2 学び合う授業により、聴き合い寄り添い合える集団が育っている。学校全体で継続して取り組んでいきたい。

○視点3 校内研究やOJTを中心に校内での研修が充実している。共通理解のもと、「挨拶」「掃除」「靴そろえ」「聴く指導」の徹底を図る。

## 取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

※達成状況の割合(%)は、目標数値に対しての達成状況の割合です。

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①生活科と総合的な学習の時間を中心に、教材と指導法を研究・実践していくことで、主体的に問い続ける子どもを育成する。 ②目的や意図をもって端末を活用し、有効な活用法を、学年や学校全体で共有する。	①児童質問調査「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の肯定的評価平均値の割合85%以上。		
	②児童質問調査「ICT機器活用に関する質問項目(複数)」の肯定的評価平均値の割合90%以上		
【視点2】学びを支え合う集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①校内研究で磨いてきた「学び合い」のスタイルを継承し、思いに寄り添いよさを認め合える学習集団づくりの推進。	①児童質問調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」の肯定的評価の割合85%以上。		
	②児童質問調査「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」の肯定的評価の割合90%以上。		
【視点3】協働して取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①OJT推進リーダーを核とし、各教員による研修会の実施を通じた高め合う教師集団づくりの推進。	①教職員の指導力及び組織的な教育力の向上 【学校教育評価 教職員自己評価2.0以上】		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

・視点1・2については、研究主任と学ぶ力向上推進リーダーを中心に取組を進める。夏休みの研修会で一学期の成果と課題を共有し、評価指標に照らしながら適切に方向性を修正しつつ目標の達成に向けた実践を積み重ねる。また、全国学力・学習状況調査の分析結果を共有し、課題をより明確にすることで効果的な実践へとつないでいく。

・視点3については、生徒指導主任・研究主任・OJT推進リーダーが連携して取組を進める。教室掲示や校内放送等で指導を徹底したり、学校だよりやホームページで保護者や地域へ発信したりするなど、多角的な方策を用いて共通実践を図り、評価指標の達成を目指す。

## 今年度の取組の成果と課題